



改革と成長発展をめざして

下野市議会議長 松本 賢一

議 会 Assembly

新年明けましておめでとうございます。2016年の輝かしい新春を健やかに迎えたいとお慶び申し上げます。

昨年中は議会の活動に對しまして、市民の皆様のご理解とご支援により、円滑な議会運営ができましたことを心より厚くお礼申し上げます。

今年には下野市が誕生いたしました10年の節目を迎えます。市議会としても、気を引き締め、襟を正して頑張つて参りますので、本年も相変わらずよろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年9月9日、10日に発生した50年に一度という関東・東北豪雨により、下野市内でも各所で家屋の浸水、農作物や耕作地等に大きな被害を受けました。被害に遭われました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

本市では災害対策本部が設置され、下野市消防団、広域消防、建設業組合はじめ関係団体の皆様の連携と速やかな対応により、被害を最小限に食い止めることができ、何より人的被害がなかったことは不幸中の幸いであつたと思っております。改めて、尽力をいただきました全ての皆様に敬意を表しますとともに、感謝とお礼を申し上げます。

市議会では市災害対策本部が設置されたことを受け、市議会災害対策支援本部を設置し各議員を招集、対策を協議、各議員からの調査状況をまとめ対策本部に報告をしたところでございます。

市議会としても今回の教訓を生かし、より安全で安心して暮らせるまちづくりに向け努力してまいります。

さて、市制10周年を迎え市議会を振り返つてみると、合併当初54人であつた議員定数は、3度の見直しにより現在の18人となりました。また、平成25年には議会基本条例を制定し、これに基づき「議会報告会」を毎年開催しております。市民の皆様には定例会の審議結果や議会活動についてご報告するとともに、広くご意見を拝聴し市議会及び市政の発展を目指しております。今後とも、より多くの市民の皆様にご参加いただけることを願っております。

また、一昨年に設置された議会活性化特別委員会においては、現在も市議会の改革と活性化に向けた取り組みを続けており、会派制の導入に向けた調査研究を進めているところであります。

私たち市議会は、なお一層の改革を進めるとともに、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりに努めてまいりますので、今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

話は変わり、私は、昨年の9月28日から10月2日にかけて、ドイツ・ディーツヘルツタル市への姉妹都市締結40周年記念訪問団派遣事業に、市長をはじめとした16名の団員の一人として参加しました。

ディーツヘルツタル市は、赤い屋根の家並みが緑の自然に囲まれ、畑の茶色と牧草の緑のコントラストがとても美しいまちでした。

現地では、IT企業や介護施設、若者支援施設などを訪問し、産業事情や施設の運営形態などを視察しました。また、市議会のシヨール議長と会談し、それぞれ

の議会の現状について意見を交わしました。旧シュタインブリュッケン町と旧石橋町との交流の証である石の橋と記念碑、五重の塔を訪れたときの感動は今も心に残っております。

今回の訪問団に参加させていただき、本市とディーツヘルツタル市との40年という長い年月の交流が生んだ強い絆は、今後さらなる発展を遂げるものと改めて確信するところであります。

本年は、合併の象徴であり市のシンボルとなる新庁舎が開庁となります。また、「第2次下野市総合計画基本構想・前期基本計画」、「下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実施元年でもあり、本市の未来への記念すべき年になります。

市議会としましては、さまざまな市政課題の解決に向け議会機能の一層の充実を図り、より良いまちづくりを目指し、二元代表制の趣旨を踏まえて、執行機関と健全な緊張を保ちながら、本市の更なる成長発展と福祉の向上に向けて取り組んでまいります。

また、これまで以上に皆様に親しんでいただける開かれた議会となるよう、議会活性化に向け邁進してまいりますので、引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆様方にとって実り多き年となりますことを、心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。